

「広島市水道ビジョン（素案）」に対する市民意見募集の結果について

1 意見募集期間

平成 29 年 12 月 28 日(木)～平成 30 年 1 月 17 日(水)

2 意見募集方法

- (1) 水道局企画総務課・各営業所の窓口及び公文書館の閲覧室に素案を設置
- (2) 広島市ホームページ及び水道局ホームページに掲載
- (3) 水道モニターに対してメール又は郵送で通知
- (4) 広報誌「市民と市政」へ募集記事を掲載

3 意見募集結果

提出者数 6 名（意見件数 10 件）

4 意見への対応

頂いたご意見は、既にその趣旨が「広島市水道ビジョン（素案）」に盛り込まれているもの、今後の取組に当たって参考とすべきものなどでした。

このため、「広島市水道ビジョン（素案）」の内容で「広島市水道ビジョン」を策定することとし、頂いたご意見は今後の取組に当たっての参考とさせていただきます。

5 意見の概要と本市の考え方

意見の概要	本市の考え方
1 総括的な事項に関する意見	
水道と下水道について、別々の分野として捉えるだけでなくまとまりを持ってお互いを計画するようにできないのか。今までは始期の遅れなどから難しいところがあったが、一通り整ったこれからのビジョンには施設・経費面などでは一体化の工夫を考えてほしい。	本市では、これまでも上下水道料金の徴収業務を一括して水道局で行うなど、経営の効率化とお客さまサービスの向上に努めています。 今後も、可能な分野については連携を図っていきたいと考えています。
2 施策の展開に関する意見	
I 「安全でおいしい水の供給」・II 「水道施設の更新・改良」・III 「災害対策の充実」	
安心安全な水をいつでも供給してもらえるということが一番なので、お客さまサービスはこの次でよいと思う。災害対策、水道の施設の老朽化など、これからの課題に取り組んで欲しい。	いつでも安全でおいしい水をお客さまにお届けするため、災害対策の充実及び水道施設の更新・改良に重点的に取り組んでいきます。 また、お客さまのニーズや費用対効果などを踏まえ、お客さまサービスの向上についても取り組んでいきます。

意見の概要	本市の考え方
IV 「健全経営の推進」	
料金は値上げしないで欲しい。	近年、節水型社会の進行等の影響により、水需要とともに料金収入が減少傾向にあります。
施設の老朽化など待ったなしの問題を解決するために、なるべく早く水道料金を上げて粛々と対応する事がベストだと思う。	一方で、老朽施設の更新や災害対策など、料金収入の増加につながらない投資の必要性が高まっており、更なる経営基盤の強化が喫緊の課題となっています。そのため、経費の削減や収入の確保に取り組んでいく必要があります。
基本料金を低く抑え、使用水量の増加に応じて単価が上がる現在の料金体系はおかしいと思う。これは本来高度成長期に水使用量を一定限度に抑えるために考えられた料金体系と思われる。現在の安定的かつ低成長社会構造の下では基本料金を市民が応分に負担するために（少なくとも全国平均並みに）基本料金を引き上げる必要がある。その代わりに使用量に応じた逦増型料金体系は廃止すべきである。これらを組み合わせ水道料金収入の漸増を図るべきである。	また、水道料金については、当面は現行水準を維持しますが、負担の公平性や安定収入の確保を踏まえた料金制度の在り方について、検討していきます。
水は私たちが生きていくために絶対に必要であること、安心安全な飲み水でなくてはならないことを考えると、新たな収入が必要だと思う。水道料金とは別に施設管理費（少ない額で一定）を支払うシステムにしたらどうか。	いつでも安全でおいしい水をお客さまにお届けするため、経費の削減や収入の確保に取り組んでいく必要があります。本市の有する経営資源を生かし、水道水の多様な活用など新たな発想による収入の確保に取り組んでいきます。
これから設備が古くなり、更新時期が早まり、費用は嵩み、工事に必要となる施工技術士・作業士も減少する。また、水使用人口の減少（少子化）により収入が少なくなり、事業計画が難しくなる。早目の対策（料金値上げ、技術向上等）をお願いしたい。	今後、給水人口が減少に転じ、更なる料金収入の減少により経営はますます厳しくなると見込んでいます。こうした経営環境の変化等を見据え事業計画を着実に推進するために、財源の確保や維持管理及び施工等に携わる人材の育成など総合的な取組を進めていきます。
V 「お客さまサービスの向上」	
独立採算であることを知ってもらうためチラシ配布、自治会等と協力してはどうか。	水道事業は地域独占性が高く、料金収入を基に事業を行う独立採算の公営企業です。そのため、事業運営に当たっては、お客さまとの相互理解が欠かせません。これからもお客さまのご理解が得られるよう、より効果的な手法の検討に努め、広報広聴活動の充実に取り組んでいきます。
地球の環境破壊が深刻さを増している昨今、水が本当に貴重で大切な資源であることを広島市民の皆さんにもっと認識していただき、水の理解者になってもらう必要がある。	
3 その他の意見	
海外旅行をした際、ホテルなのに蛇口から水は飲めなかった。日本の水道事業には本当に感謝できない。	これからもお客さまに安心してご利用いただけるよう、いつでも安全でおいしい水をお届けする水道づくりに取り組んでいきます。